

ふるさと銀河線跡地整備に向けて②

ー木道プロムナード基本設計にかかるワークショップからー

* 前回掲載は『広報おけと6月号』

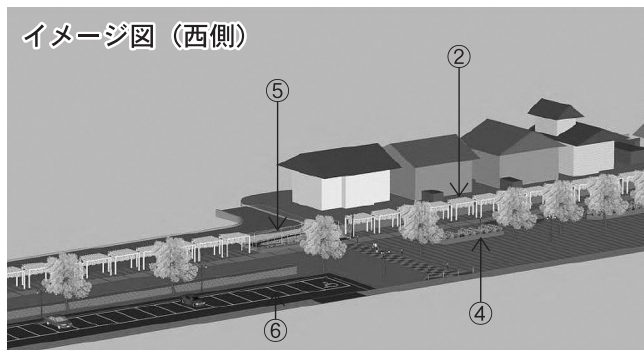
町では、市街地区の銀河線跡地整備を進めるにあたり、昨年作成した「想像図」に対する皆さまからのご意見や事業の優先度などを考慮し、いくつかのエリアに分け、順次整備を進めていくこととしています。本年度は、イベント広場付近から生涯学習情報センターまでを想定した木道プロムナード整備の基本設計を実施していますが、今回は、設計委託業者より示された設計概要（中間報告）と、これにもとづき9月20日に開催されたワークショップで出されたご意見についてお知らせします。



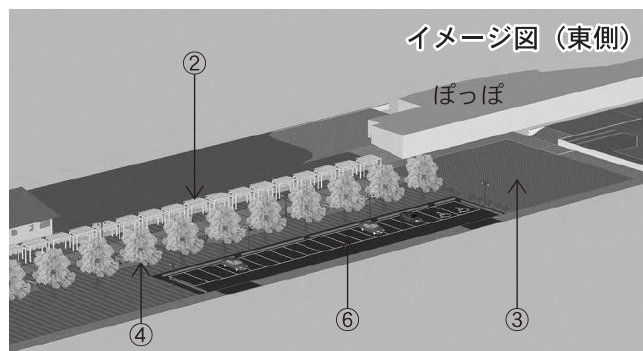
ワークショップで意見を交わす参加者たち
＝9月20日夜、ぽっぼ

木道プロムナード設計概要（中間報告）

- ①延長300mのレールを残した部分に木の板を敷き詰め、プロムナード（遊歩道）とする。
- ②北側（住宅側）には延長200mにわたり藤棚を設置する。実現すれば道内屈指の長さとなる。
- ③多目的に利用できるミニイベント広場を設ける。



イメージ図（西側）



イメージ図（東側）

ぽっぼ

- ④南側（生涯学習情報センター側）にはサクラ並木や花壇、あずまやなどを設置する。
- ⑤大通りから生涯学習情報センター前までの通路をバリアフリー基準で整備する。
- ⑥駐車場を舗装整備する。

ワークショップで出されたご意見（抜粋）

- ぽっぼ横の駐車場を利用した際に木道プロムナードが目につき、思わず足を運びたくなるような工夫を
- ぽっぼ横の駐車場から木道プロムナードへのバリアフリー通路が必要ではないか
- レール部分に敷き詰める木の板に再生木材を使用するのはとても良い
- 藤棚やサクラ並木だけでなく、大きな広葉樹も点在させてはどうか
- ミニイベント広場に、バーベキュー施設を設置してはどうか
- あずまややベンチなどには、出来るだけ地元材を使用してほしい
- 花壇は単一的なものではなく、デザイン性に富んだものが良い
- 生涯学習情報センターへの通路周辺を、イギリス庭園風に整備してはどうか
- 藤棚については、全道一の長さを目指す必要はないのでは
- 市街地区の一体化が目的であるはずだが、藤棚とサクラ並木によっておしろ南北の地域を分断することにならないか

【詳細】 町づくり企画課企画係（☎52-3312）